



VOL.279

里山クラブ可児

2023年11月1日発行

発行所：里山クラブ可児

発行人：堤 喜治

編集人：柿元 章吾

水プロ | 10月4日 | 参加者：16名

稲刈りイベント明け最初の水プロ。さて、刈り残しの田んぼが5枚もあります。時折、小雨も混じる曇天ですが、全て刈ってしまうほかありません。出席者全員で稲刈りです。



▲小雨の中、稲刈りを行う



▲刈った稻を束ねる人



▲束ねた稻をハザ掛けにする人

さすがに、午前中で刈り取り終了とはならず、午後にも持ち越しです。それでも、みんな一致協力してそれぞれの役割をこなし、なんとかハザ掛けまで終了しました。



▲ハザ掛け完了

水プロ | 10月11日 | 参加者：12名

こんにちは、お久しぶりですね「ニホンカモシカ」さん。あなたは、まだ子供ですね？近くにママがいるのかな。

というわけで、この日はあわててハザ掛けにカモシカよけのトラロープを設置しました。



▲赤松林の下の崖に登場



▲ロープを張る杭打ちからです



▲完成したトラロープ張り

崩壊地の基盤補強工事は、相変わらず続いていますよ。この日も、土止め用の丸太を設置し石を敷き詰めそこにコンクリートを流し込みました。



▲まだまだ工事中！



▲コンクリーミキサー大活躍



▲伐採したアベマキ、すでに萌芽更新が始まっている

例会 | 10月15日 | 参加者：12名

昨夜からの雨も10時ぐらいには止んで、管理棟でまつたりしていた会員たちも早速始動です。

一番の課題は、崩落地の地盤改良工事です。この日は、こ庭のパパ2名と、岐阜市からの若手もいたので、たくさん石を埋めることができました。



▲とにかく狭いところなので石も一つ一つ手渡しで運びます

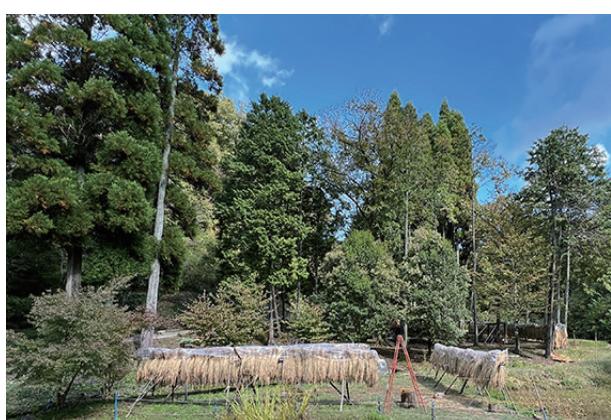
季節の変わり目で、不順な天候の日が続くといろんな生物が里山でも活躍します。



▲巨大なヤモリ



▲発芽してすぐのテングダケ



▲ハサ掛けされた稲、乾燥を待ちます

次の水プロでは、いよいよ脱穀です。さて、今年はどんなお米が取れるか、楽しみですね。

水プロ | 10月18日 | 参加者：11名

秋晴れの中、いよいよ脱穀と糲摺りです。春に植えて、酷暑の中の草取りなど手間をかけて育ててきた稲がお米になる日です。

脱穀機の調子も良く、10時にスタートしてお昼には脱穀作業を終えることができました。



▲順調に進んだ脱穀作業



▲脱穀後の稻藁を丁寧に束ねます



▲束ねた稻藁をピザ小屋へ搬送

午後からは、糲摺りです。初めは糲摺り機不調でしたがサポートがあり、漸く順調に稼働。2時半頃には予定通り完了しました。その後、管理棟で玄米を保管。今年の収穫は、思ったより多くなくほぼ昨年並みです。酷暑で雨も少なく条件があまりよくなかったのかもしれません。また、暑さで稲の成長も例年より早く、稲刈りの時期が遅れたことも影響があるかもしれません。



▲順調に進む糲摺りの様子

人が手探りで行う米作りです。毎年、課題があり天候にも左右されます。大変なお米作りを私たち日本人は大昔から連綿と続けてきましたんですね。

例会 | 10月22日 | 参加者：22名

本日も超快晴なり。女子会の参加もあり久々に参加者多数となりました。活動も様々に行いました。

棚田のカモシカ柵杭の撤去から、引き続き佳境を迎える夢工房基礎補強工事。これは、基礎用石の運搬からコンクリート敷設までの地道な重労働。しかし、少しは終わりが見えてきたようにも思われます。



▲ひとつずつ石を集める



▲ひとつずつ石を敷く



▲重機が入るわけないのでコンクリートを一杯ずつ手渡しで

ハサ掛けの支柱を薪小屋へ収納し、残った玉切りの薪材を薪割りします。これで、薪小屋周辺もすっきりと片付きました。



▲ハサ掛け杭の片付け



▲延々と続いた薪割りも終了か



▲女子会は芋掘り



▲ブルーベリー農園の整備

水プロ | 10月25日 | 参加者：15名

平日の水曜ですが、この日も 15 名の参加者。以前から気になっていた、椎茸のホダ木。経年劣化で傷んだ木も多くなっていました。この日は、傷んだホダ木を処分。午前中には作業完了です。

同時進行で、夢工房基礎補強工事のコンクリート打ちです。これで基礎工事はほぼ完了か。いよいよ、今後は倉庫の傾きを修正する工事です。工法についても入念な打ち合わせが行われました。



▲ホダ木を整理して椎茸の収穫に備えます

またこの秋、可児市に「無印良品」がヨシズヤ内に出店するそうです。早速、そのお店の記者さんが取材に訪れました。我田の森の魅力や私たちの活動をお店のブログで取り上げていただけること。掲載されたらぜひ、お読みください。



▲記者（左）に対応する増本会員（右）

根本が腐って危険なアベマキの高木を、ベンチに加工しました。午後からは、本日のメインイベント！、この重量物を現場から芝生広場に据付です。なにしろ四人がかりでどうにか持ち上がる重量。それを、軽トラに運び上げ芝生広場に移動しました。



▲軽トラもご苦労様です



▲参加者総出での据付作業



▲里山ファームの収穫作業



▲据え付けられたアベマキのベンチ

11月23日勤労感謝の日は、可児市の里山の日です。今年の会場は「我田の森」。この新しいベンチで参加の方々がくつろいでくれるといいですね。



▲里山ファームの「フォックスフェイス」黄色く色づくと狐のよう

■令和5年10月度の我田の森への入山人数

1. 里山クラブ可児会員	88人 (累積: 723人)
2. 自然育児こどもの庭	178人 (累積: 977人)
3. 講座 (なし)	0人 (累積: 107人)
4. 行事 (なし)	0人 (累積: 52人)
5. 外部団体	0人 (累積: 83人)
6. 見学者等 (無印良品可児店取材)	1人 (累積: 33人)

令和5年度の累積入山人数: 1,975人

■令和5年11月度の活動予定

- 例会: 19日(日)、26日(日)
夢工房裏基礎基盤補強工事、林道整備、赤松林の枯れ松の処理、電柵の保守、他
- 水プロ: 1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)
玄米の天日干し及び精米、棚田への施肥、棚田周辺 / 管理棟広場の草刈り & 芝刈り
- 講座: 無し
- 行事: 23日(木・祝) 里山の日、25日(土) 可児市環境楽習塾



▲秋のみのり、カキとアケビ



▲巨大になったトウガン



▲石集め作業で起こされた、冬眠中のシマヘビの子供

里山は、秋から冬へと向かい始めたようです。インフルエンザが早くも流行していますが、健康に留意して過ごしましょう。